

アツくておもしろい、若手農家が糸島で活躍中です！

糸島の農業を元気に

若手ファーマーズの

古動

NO.85



糸島市志摩桜井
いわさき だいすけ
岩崎 大輔さん
(27)



ハウス内での作業用として、23馬力のトラクター1台と畝立て機を保有されています。



やわらかく、デリケートな果実なので、収穫には気を使います。
(収穫が終了したハウスでのイメージ写真です)

◆農業経営の内容を教えてください

イチゴの専業農家として土耕ハウス28畝で、私と父、母の3人で生産しています。

◆就農のきっかけは？

姉と兄がいますが、2人とも東京で就職しており、自然と末っ子の私が後を継ぐ形になりました。

高校卒業後に料理の専門学校に進みましたが、美味しい食材を生産してみたいと思うようになり就農し、父を師匠に勉強の日々です。

◆就農して知った苦労は？

朝が早い事です。(笑)

収穫で忙しい2月中旬頃から5月末頃まで、午前4時半に起き、5時には作業を始めます。

10時頃の遅い朝食の後、パック詰めに取り掛かります。

実はこれでも遅い方で、もっと早く作業を始めている人もいます。

あと、冬の時期は寒さで手がかじかんでしまい、デリケートな果実の収穫に支障があるので、私は軍手をして作業をします。

◆直近の目標は？

まだ自分だけで生産したことは無いので、自分なりの工夫やこだわりというのはありませんが、身近な目標として収穫やパック詰め作業のスピードアップを目指しています。

◆心掛けていることは？

生産者ごとに、土壌や日照などの条件が違っているため、本だけの勉強で得た知識では役に立たないと考え、毎日の作業を通じた実践的な知識を積み重ねることを心掛けています。

毎日の作業内容は記録して、次年度の作業や防除履歴の作成に活かせるようにします。

◆将来の抱負は？

将来的にはAIなどを活用したスマート農業にチャレンジして、機械に出来ることは機械に、人間にしか出来ない事を人間が行うようにしたいと考えています。